

(公社) 日本農業法人協会
自主的研究会 やまと凜々アグリネットについて

< 目次 >

- I 活動再開にあたって・・・・・・・・・・ 2～10
やまと凜々アグリネット 会長 嶋崎 田鶴子
- II やまと凜々アグリネット概要資料・・・・・・・・ 11～20
事務局作成

A close-up photograph of a person's hand holding a small, young plant seedling with green leaves and a dark soil ball. The background is a blurred outdoor scene with green foliage and a blue sky.

(公社) 日本農業法人協会
自主的研究会

やまと凛々アグリネット 活動について

令和5年 6月16日

日本農業法人協会理事 嶋崎 田鶴子

「やまと 凜々アグリ ネット」の 規約より

(目 的)

第1条 この会は、公益社団法人日本農業法人協会の会員である農業法人の女性経営者等が、会員相互の連携の下、女性経営者等としての地位や社会的・経済的地位の向上ならびに、農業経営の改善を図ることを目的とする。

(名 称)

第2条 この会の名称は、「やまと凜々アグリネット」と称する。

(活 動)

第3条 この会の目的達成のために次の活動を行う。

- (1) 会員相互の連携強化に関する事項
- (2) 農業法人女性経営者等の研修・研鑽に関する事項
- (3) 農業法人の経営改善や農業法人女性経営者等の地位の向上等に関する提案・提言に関する事項
- (4) その他、目的達成に必要な事項

現状の課題について - 1

継続できない原因

- 予算がない
- 参加者の総意がまとまらない

課題

- 会員が集まる場がない。
- 会員として何をする場なのか不明確
- 活動が継続できない
- 農業者としての課題として認識できていない

今までの活動

- 年数回の親睦視察旅行
- 研修会等

現状の課題について - 2

「日本農業法人協会」で、女性だけの会はあったほうがいいと、ほとんどの人が思っているが、何をしたらいいかが明確になっていないために、事業として継続できていない。

コロナ禍の中で、リアルで集まることができなかったので、休止状態が続いてしまった。

時代の変化の中で、女性の立場の変化もあり、視察などの事業だけでは女性活躍の場の提供にならないと認識しなくてはいけない。

日本農業法人協会の立場として

女性活躍を詠う会として、理事者に女性が少ないのは社会的に認められない組織になる可能性があるため、弊協会としても、女性を理事にする必要性を認識している。

理事になれない、言い換えると理事になりたいと思わない。その原因はどこにあるのかを議論する必要がある。

- 女性経営者が少ない
- 農業界の特殊性（会員のほとんどが家族経営的な法人が多いため、女性経営者と言っても補佐的な立場になっている人が多い。または、夫婦で参加した場合、経営が成り立たないことが多いのではないかと）

そもそも弊協会の意義に問題あり？

始めることに意義がある

令和5年度の活動として

- 活動開始をする。
 - 事業を行う
 - 視察研修旅行の実施
 - 経営課題解決のためのセミナー開催 (ZOOM)
 - 会員を増やす
 - ブロック理事を通じて各県の会長に声掛けを行う
 - 様々な団体とコンタクトを取る→ 嶋崎

次世代に託すには



事業計画 - 1

視察旅行

- 目的
 - 経営改善のため
 - 女性が活躍している法人を学ぶ
 - 他産業または特殊な業態を学ぶ
- 視察先 上記目的にあったところを選ぶ
- 時期
- 費用 一部法人協会から補助を出してもらう





事業計画 - 2 セミナー

- 経営改善を行うヒントになる事例から
 - 他産業の女性経営者の講演
 - 農業法人協会の優良経営事例の勉強会
 - 財務、税務、労務などの専門家を招いてのワークショップ etc

日本農業法人協会への 提言作成→

最終目的

- 女性理事を3名以上にするために、理事会へ働きかけ。
- 大きなことはしなくてもいいが、女性経営者が自身の言葉で発信し、日本の農業界が今後進むべき方向性を見極めることができる人材として、凛々の会から推薦する。
- 次世代の経営者となるべき人材（50代以下）



日本農業法人協会 自主的研究会
「やまと凛々アグリネット」概要資料

令和5年8月

1. やまと凜々アグリネットについて

(1) 設立の経緯

○ 平成17年3月

(公社)日本農業法人協会に集う女性農業経営者等数名が発起人となり、それまで不定期に行っていた女性農業経営者等の勉強会などの会合を発展させ、ネットワークとして組織性を持つ自主的研修会「やまと凜々アグリネット」を発足

○ 組織名

「やまと凜々アグリネット」は、女性の特性を活かし、柔軟性の中にも凜とした姿勢を持ち、先進的な発信をしていきたいという思いを込め、ひらがなで「やまと」(柔軟性)、漢字で「凜々」(凜とした姿勢)、カタカナで「アグリネット」(先進的な発信力)とした

(2) 令和5年現在の状況

設立から20年弱が経過し、メンバーの世代交代や若手会員の加入の停滞、活動ニーズの変化等の組織運営の課題が顕在し、令和4年6月の総会で自主的研究会としての活動をいったん見直し再検討した結果、令和5年8月新たに役員を選出、活動の再起を図ることとした

1. やまと凜々アグリネット組織概要

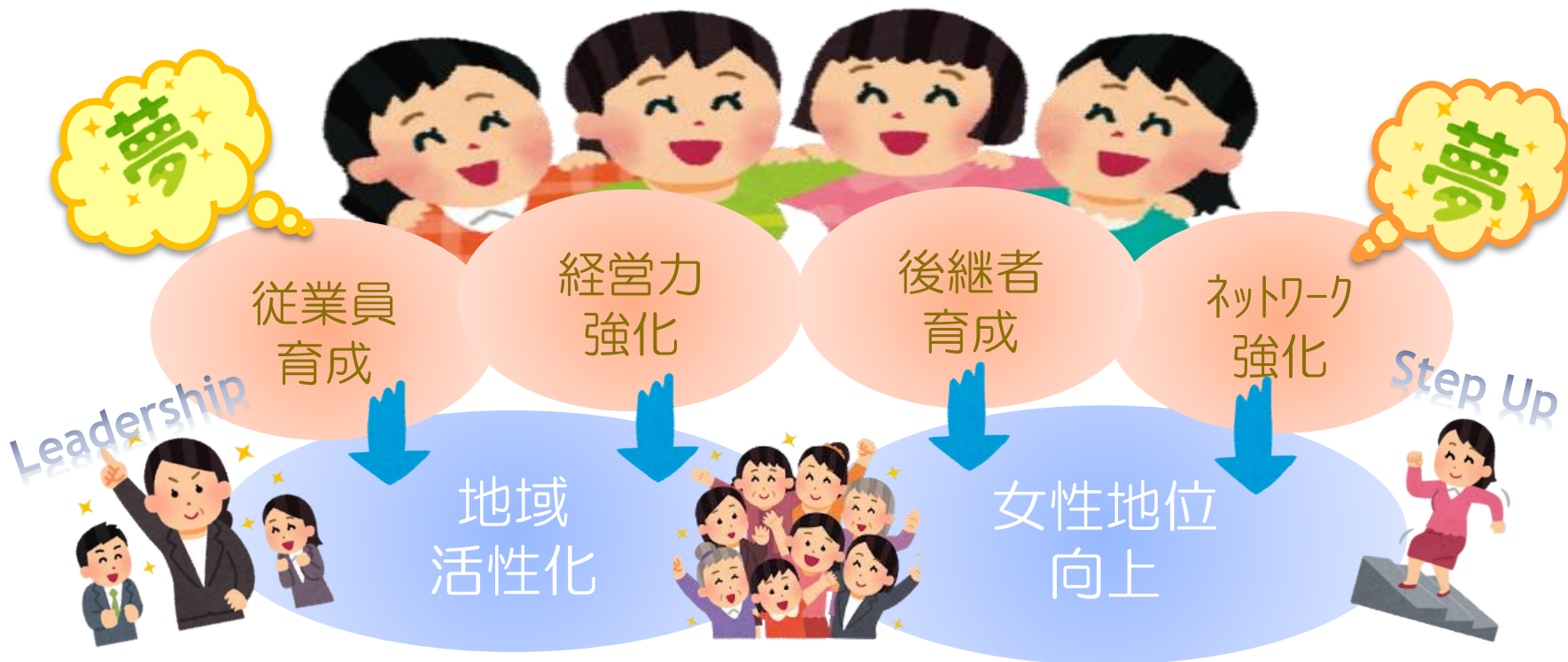
【令和5年8月現在】

- 会長
長野県 有限会社トップリバー 代表取締役 嶋崎 田鶴子
- 副会長
北海道 有限会社大塚ファーム 取締役副社長 大塚 早苗
群馬県 有限会社妙義ナバファーム 取締役 黛 佐予

(敬称略)
- 会員数 32名 (令和5年8月時点)
- 年会費 5,000円/1社 (1社から複数人参加の場合も5,000円)

2. 運営方針（平成28年策定）

貴女の夢の実現、サポートします！



私たちは以下3点を重点的に実施し、会員の目指す「夢」が実現できるようサポートします
会員それぞれが活躍することで「地域活性化」や「女性の地位向上」を図っていきます

1. 従業員と共に参加できる研修や、他経営体の視察研修会を各地域で開催
2. 他業種等の女性組織との意見交換、会員相互の交流（WAP100認定経営体との交流・会員勧誘）
3. 会員の意見を反映し、常に魅力のある組織作りを目指します
若手女性農業者の入会を増やし、世代を超えた学びあいの場を作ります

3. 主な活動

(1) 各地での視察研修会の開催

平成18年度	福島県	富山県	大分県	<p>全国に所在するやまと凜々アグリネット会員の経営を中心に各地を訪問。会員同士の交流を深め、地域に根差した取り組みや、近年では災害等からの復興なども実際に足を運んで意見交換し、自らの経営強化に資する研修を行っている。</p> <p>1泊2日で実施し、懇親会には地元農業法人協会のメンバーにもご参加いただき、各地での交流を深めてきた。</p> <p>やまと凜々アグリネットからの参加者は毎回15名程、参加費は20,000～25,000（現地までの交通費は別途自己負担）</p> <p>コロナ禍により、令和2年～令和4年度は実施を見合わせ。</p>
平成19年度	京都府			
平成20年度	宮崎県	山梨県		
平成21年度	北海道	和歌山県		
平成22年度	福岡県			
平成23年度	山形県	茨城県		
平成24年度	高知県			
平成25年度	宮城県	長野県		
平成26年度	三重県	福島県		
平成27年度	岡山県			
平成28年度	愛媛県	福岡県		
平成29年度	熊本県	千葉県		
平成30年度	群馬県	静岡県		
令和元年度	奈良県			

視察研修会のメリット

- ▶ 業種・作物にこだわらず、先進的な経営を視察
- ▶ 地域に根差した活動からヒントを得る



3. 主な活動

(2) 各種研修会・意見交換会の開催

- 他団体女性組織等との意見交換
- 関連産業経営者、研究者等の講演会
- 経営改善・人材育成に向けた研修会の開催

会員からの要望で各種意見交換会や講演会、研修会を開催。経営改善・人材育成に向けた研修会では、会員からの要望により実施テーマを決定。

マーケティングや経営知識、税務や労務管理を学ぶ勉強会、農作業現場における様々な課題等に対する実践的改善の手法を学ぶセミナー等を実施。テーマによっては経営者と従業員等と一緒に参加し、コミュニケーションを深め、各社の人材育成の強化も図れる内容とした

女性農業者向け農作業現場改善セミナーの概要（平成28年度開催）

グループワーク

各社混成の3グループを作成

茨城県（有）アクト農場
1月27～28日

現場観測、データ収集

現場特性や問題点などの分析

問題点の把握と課題の抽出

自社にもちかえり自習

農林中央金庫
2月23日

問題解決案を検討・トライ効果試算・自社への応用等を共有

【1月27日AM】
作業改善の手法について基礎知識を学ぶ。



【1月27日PM】
小松菜、春菊、パクチーの3チームに分かれ、それぞれ作業を進める



【1月27日PM】
チームごとに現場にて作業工程のビデオ撮影。



【1月28日AM・PM】



ビデオ撮影から作業工程の洗い出し、計測、日報等の作業データと照らし合わせ。分析手法を用いて、データを比較し、問題点の把握と課題の抽出から改善策を検討する

【1月28日PM】
検討した改善策を一部実行してみる。



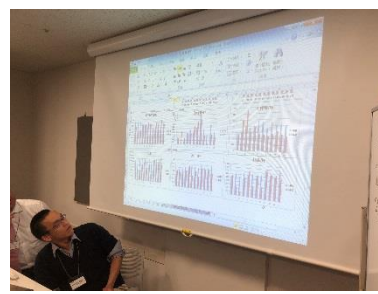
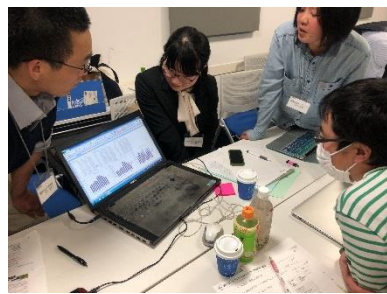
【2月23日AM・PM】

アクト農場が実施した改善策のビデオ撮影から改善策の有効性を計測、検証。あわせて約1カ月の自習期間で自社において実施した作業改善について、発表



経営改善・人材育成に向けた研修会の開催

- 平成28年度の農作業現場改善セミナーの発展版として平成29年度は「収益向上のための日報分析研修会」を開催



- 平成30年度は労働環境改善を目指した「わが社の働き方改革宣言-人材育成編-」を実施



経営改善・人材育成実践型セミナー

令和元年度開催

やまと凛々アグリネット 主催

私たちの経営改善・人材育成 実践型セミナー

参加費
無料

どなたでも
ご参加いただけます！

やまと凛々アグリネットでは、農作業現場での作業改善や職場環境改善、人材育成等について毎年様々なテーマで会員の経営発展に役立つセミナーを実施してまいりました。

今回は、熊本県株式会社セブンフーズ 前田佳良子社長から自身の体験を踏まえた人材育成の取り組みについてお話しいただき、さらに現場で利用可能な農業法人の人材定着や職場環境改善に役立つ施策やツール等について紹介します。

日時 令和2年2月14日(金) 12:30~16:15

場所 農林中央金庫JAビル901A会議室(新有楽町ビルから変更となりました)
〒100-0004東京都千代田区大手町1丁目3-1 JAビル29階

参加者 やまと凛々アグリネット会員をはじめ、協会会員(男性も歓迎です)、農業女子プロジェクト、その他関係団体等

内容・プログラム 12:00 開場・受付 12:30 開会

第1部：失敗から学ぶ農業法人の人材育成 12:45~15:15 (2時間30分)



- ◆講師(事例提供)：株式会社セブンフーズ 前田 佳良子代表取締役
- ◆演題： 経営者も従業員も幸せな職場づくりを目指して ~セブンフーズの奮闘記~
 - ・経営者として時には失敗も経験しながら、様々な試行錯誤を繰り返して現在のセブンフーズを作り上げてきた経緯等をお話しいただきます。



- ◆コーディネータ(総括)：筑波大学生命環境系教授 納口りり子先生
新潟食料農業大学講師 青山浩子先生
- ・青山先生に他の農業法人の人材育成の事例等をご紹介いただき、納口先生に全体総括をいただきます。会場からも人材育成の課題等を挙げてもらい、様々な場面で“どうしたら良いか”や“こんな手法が有効だった”など、参考になる意見交換を行います。

第2部：人材定着施策と改善ツールによる従業員の職務満足度について 15:20~16:05 (45分)



- ◆講師：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究所(農研機構) 澤田 守 様
- ・農業法人における人材定着施策と改善ツールについて研究・開発を行った国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究所(農研機構)より、セブンフーズでも活用した施策や改善ツールの利用方法、得られる効果等をご説明いただきます。

情報提供等 10分 16:15 閉会

農林水産省 就農・女性課訪問(やまと凛々アグリネット会員) 16:30~17:15

参加者交流会 セミナー参加者による交流会を行います(参加費実費負担) 17:30~19:30

令和3年度開催 (Zoom)

(公社)日本農業法人協会

やまと凛々アグリネット主催 私たちの経営改善セミナー

農産物生産・販売における
契約書作成セミナー

参加費
無料!!



やまと凛々アグリネットでは、農作業現場・農業経営の改善に役立つ様々なテーマで学び合うセミナーを実施しています。

今回は、農産物の生産や販売に関する契約書作成の基本的なノウハウを学び、契約先と適正な取引を行うための勉強会をWeb研修会で開催します!ぜひ、ご参加ください。

日時 令和3年12月7日(火) ■セミナー 15:00~17:00

■参加者交流会(任意参加) 17:00~18:00

実施方法 Web研修会(ZOOM会議利用)

参加者 やまと凛々アグリネット会員、農業女子プロジェクトメンバー、日本農業法人協会正会員(男性の参加も歓迎いたしますが、当日の質疑応答では女性からの質問を優先とさせていただきます)

内容・プログラム セミナー 農産物生産・販売における契約書作成の基本知識を学ぼう 15:00~17:00 (講義1時間30分,質疑応答30分 合計2時間)



- ◆講師：弁護士・カリフォルニア州弁護士 大城 卓頭 先生(弁護士法人中村・大城国際法律事務所)【プロフィール】大城先生は、変革期にある農業分野で法人や経営者が持つべき法的思考・知識の情報提供・アドバイスに力を入れて取り組まれています。当協会の会員向け情報紙“Fortis”(フォルティス)では、2018年度より農業ビジネス法務に関する様々なテーマでご執筆をいただいています。

- ◆講義の主な内容：
 - ・農業現場で契約書が必要となるのはどんなシーン?
 - ・なぜ、何のために契約書を作るのか(メリットや契約書がないために不利益を被った実例等)
 - ・契約書は誰が作るの?相手方との交渉で重要なポイントとは?

- ◆質疑応答：
 - 講義や日頃の契約に関する疑問を解決し、情報を共有しましょう。

参加者交流会 (任意参加) 17:00~18:00 (1時間)

セミナー後、任意参加で参加者交流会を開催します。農業者同士の情報共有、交流を深めましょう。もちろん、凛々会員ではない方のご参加も大歓迎です。